



維新の党 横浜市議員(旭区)

大岩まさかず 市政レポート

2015年
2-3月号



大岩まさかすのプロフィール (1970年8月3日生まれ)

- 中央大学法学部 政治学科卒業 (1993年卒)
- 民間企業に17年間勤務 (日本リース、三井物産、日本GE)
- 米国公認会計士 (US.CPA) 合格
- 2011年4月 横浜市議員に初当選
- 2014年9月 維新の党 横浜市会 旭区支部長
- 政策・総務・財政委員会 / 孤立を防ぐ地域づくり特別委員会

旭区にも在宅医療連携拠点が開業しました

超高齢化が今後ますます進む中、医療ニーズの高い患者さんが、退院後に在宅療養生活へスムーズに移行する為には、病院とかかりつけ医を結びつけ、医療・介護事業者間のコーディネート役となる「拠点」が必要です。

横浜市では、医師会と協働して、在宅医療を担う医師への支援や、在宅介護を担うケアマネージャーなどに対する医療的支援をする「在宅医療連携拠点」を全区(18区)に開設する計画です。

今年1月には、旭区を含む市内10区に、新しい拠点が整備されました。在宅医療や訪問介護のニーズが高まる中、多職種の連携を促進する同拠点の整備を、応援して参ります。

旭区の在宅医療相談室(=連携拠点)は、今年の1月13日、旭訪問看護リハビリステーション1Fにオープン。



- 常勤ケアマネージャー：2名
- 訪問診療：連携先33病院でスタート
- 9-17時(土日祝日・休)
- TEL 045-520-3200

在宅医療連携拠点の今後の18区への展開

■西区は平成25年11月に開設済み

■平成27年1月に10区で開設

西区、鶴見区、南区、青葉区、瀬谷区、旭区、緑区、金沢区、港北区、中区、都筑区の計10区

■4区は平成27年度に開設予定

(平成27年第1回定例会で予算審議中)

神奈川区、港南区、保土ヶ谷区、磯子区

■残り3区は平成29年度までに開設予定

(中期経営計画に記載)

戸塚区、栄区、泉区

横浜市の在宅医療を取り巻く背景

	2013年	2025年	増加率
総人口	3,697千人	3,718千人	
高齢者人口(75歳以上)	364千人	586千人	1.6倍
在宅医療対象者数(1日あたり)	2,800人/日	5,600日/日	2倍
病院数	134	-	
一般診療所	2,924	-	

2025年には高齢者の数が、現在の1.6倍、1日あたりの在宅医療対象者の数が2倍になる事が見込まれるが、在宅医療の支援拠点がニーズに合う分だけふやせるかが鍵であり、様々な検討が必要です。

在宅療養支援施設の数(2013年)

- 支援病院：26
- 支援診療所：331
- 訪問介護ステーション：227